

# かつらだより

## 学校教育アンケート(前期)

令和元年10月  
京都市立桂小学校  
校長 梶 聰

学校教育目標『心豊かに 楽しく 学び続ける桂の子』を具現化するために、「楽しい学校」をめざし、確かな学力の向上と豊かな心の育成に取り組んでいます。7月にご協力いただきました学校教育アンケートの結果をまとめましたので、お知らせします。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

「重要である」「やや重要である」を合わせた数値を『重要度』、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値を『実現度』として集計結果を取り扱っています。

### 質問項目（児童の質問アンケートより）

①	授業は楽しい。
②	授業はよくわかる。
③	毎日、家庭学習をしている。3年生以上は計画を立てて家庭学習をしている。
④	家で読書をしている。
⑤	自分からすすんであいさつしている
⑥	学校のきまりや約束を守っている。
⑦	学校は楽しい。
⑧	友だちやまわりの人を大切にしている
⑨	早寝早起きをしている。
⑩	外遊びなど、すすんで体を動かしている。
⑪	毎日週予定表をみて準備をしている。
⑫	学校の先生は、話しかけやすい。
⑬	学校には、楽しみにしている行事がある。
⑭	地域には、楽しみにしている行事がある。

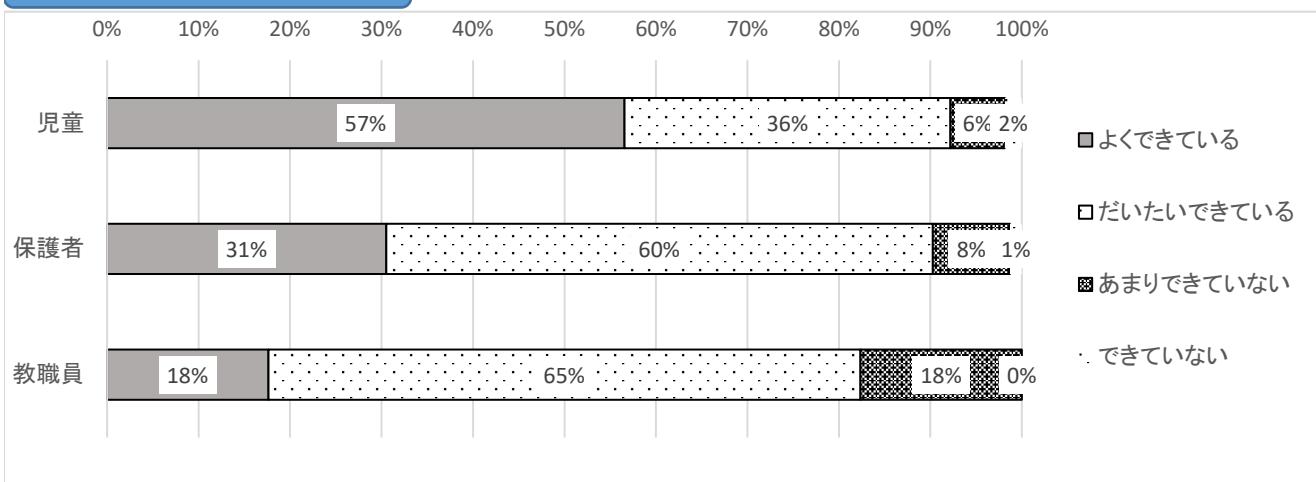
### 重要度の集計結果から

#### 【保護者・教職員のみ】

保護者の方は、ほとんどの項目で95%以上の重要度となっていました。(14)地域行事の参加が87%となっており、休日等の過ごし方において各ご家庭の事情によるところとうかがえます。平成30年度後期とは、ほぼ同様の結果でした。教職員は、概ね100%の結果でした。

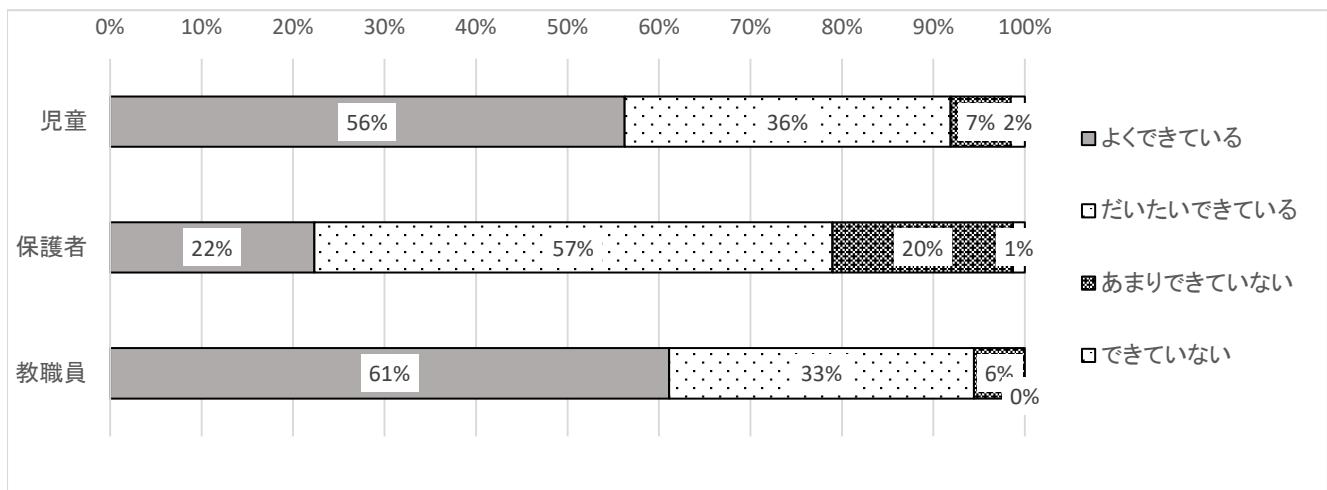
### 実現度の集計結果から

#### ①授業は楽しい



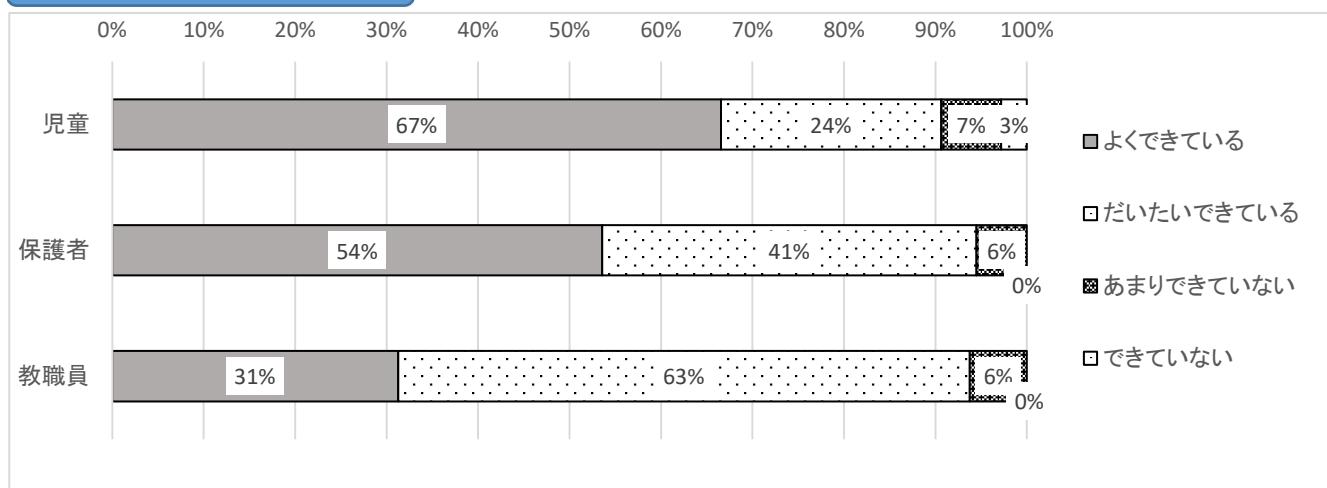
児童92%（よくできている約57%，だいたいできている約36%。以降、この順で表記。），保護者90%（31%，60%），教職員82%（18%，65%）でした。児童の回答では「よくできている」が約6割となっており、保護者・教職員は「大体できている」が回答内で一番高くなっています。児童は授業終了直後の達成感について回答しており、保護者や教職員はしばらく時間をおいて、ふりかえりながら回答しているための時間差であると考えられます。「②授業はよくわかる」の項目とともに、学習時にたのしみながら、わかる授業を実践し、学力の定着に結び付けていきたいと思います。

## ⑤自分からすすんであいさつしている



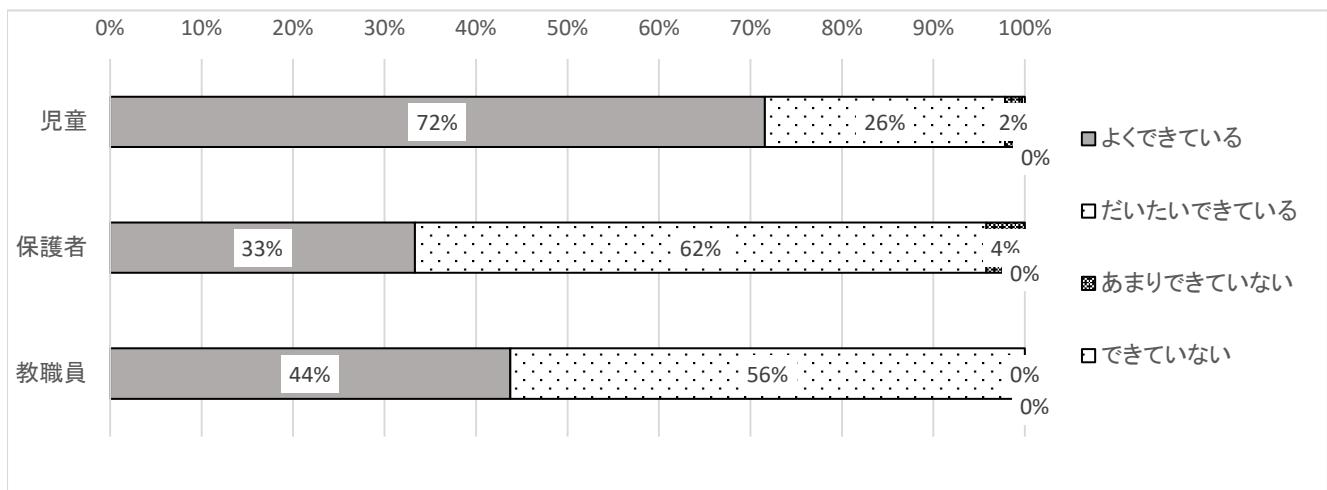
児童92%（56%，36%），保護者79%（22%，57%），教職員94%（61%，33%）でした。平成30年度後期の回答と比較すると、2～3ポイント改善されています。にこにこの日の取組や日々の地域・保護者のみなさんの見守り活動から、多くの児童は声をかけられるとあいさつができます。また、自分から先にあいさつができる児童も増えてきています。たくさんの人と関わり生活していることを理解させ、あたたかいふれあいを大切にし、自らあいさつをしたくなるような環境づくりを進めていきたいと思います。

## ⑦学校はたのしい



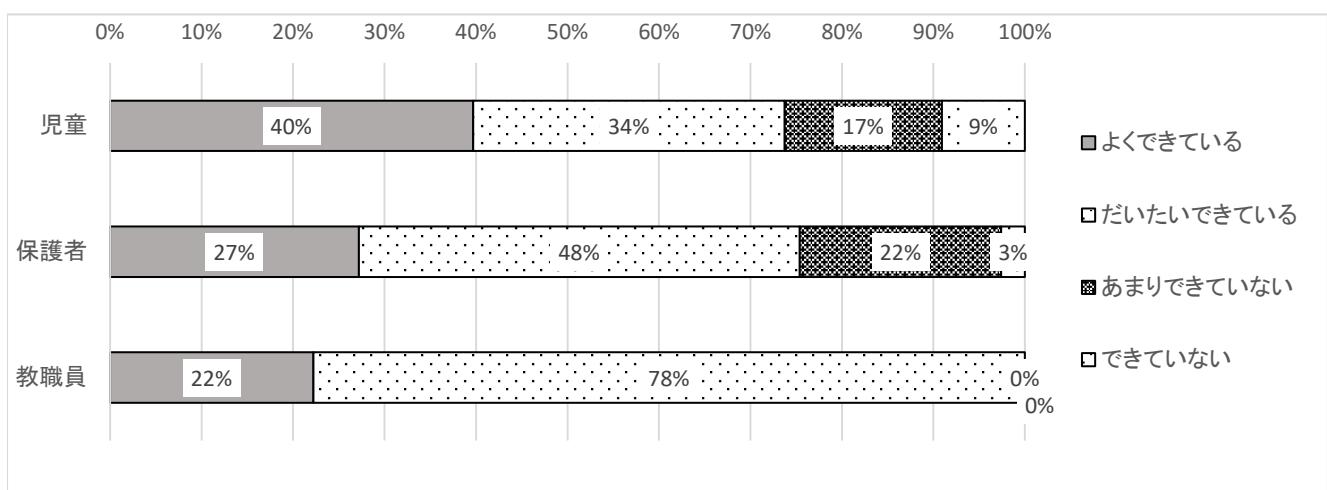
児童91%（67%，24%），保護者95%（54%，41%），教職員94%（31%，63%）でした。児童は概ね楽しく通っているといえます。しかしながら、依然9%程度「（あまり）できていない」と答えた児童が存在する結果を今回も重く受け止めなければなりません。保護者・教職員の結果からはかなり改善されてきている点から、現在の取組を進める一方で子どもたち個々の状況をくみ取っていくことが大切であると考えます。

## ⑧友だちやまわりの人を大切にしている



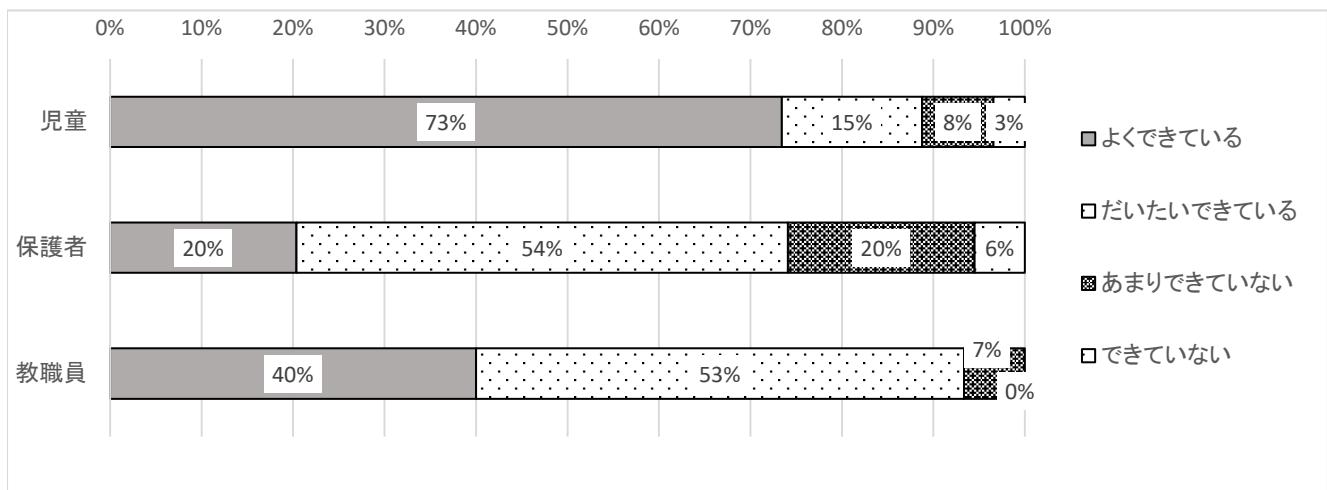
児童98%（72%, 26%），保護者96%（33%, 63%），教職員100%（44%, 56%）でした。児童・保護者・教職員とも概ね友だちやまわりの人を大切にできていると回答しています。子どもたちが自身と友だちなど他者との対話を通して、意見や考えを交流させることにより、深い学びの実現ができます。そのため、学校が子どもにとって安心して自分の力を発揮できる場所になるよう、普段から「自分の考えを安心して発表できる」「友だちの意見をきちんと受け止める」などの基盤をつくり、友だちやまわりの人を大切にし、協力して学習する環境を整えていこうと思います。

## ⑨早寝早起きをしている



児童74%（40%, 34%），保護者75%（27%, 48%），教職員100%（22%, 28%）でした。3者のほぼ3/4が実現できているという回答でしたが、夏休みあけの生活リズムを整えるめあてで実施した点検の具体的な質問から「就寝時刻が遅くなってしまう」子どもが気になりました。これは学年が上がるにつれて、その傾向が強くなっています。からだの成長著しいときです。早寝を心がけるとともに、質のいい睡眠をとれるようにしていきましょう。

#### ⑭地域には、楽しみにしている行事がある



児童89%（73%, 15%），保護者74%（20%, 54%），教職員93%（40%, 53%）でした。地域やPTA行事（⑬学校行事等の質問より）を楽しみに参加している児童が多くいます。休日については各家庭の都合もありますが、夏休み中に実施された「ザ・かつらまつり」は子どもたちもたいへん楽しみ、大盛況でした。地域・PTAなどたくさんの方にお世話になって子どもたちを健やかに育てていく取組が実施されています。引き続き参加を促す声かけとともに、地域・PTAなどたくさんの方に見守られていることを伝えていきます。

#### その他実現度の全般から

児童・保護者・教職員の3者の実現度から、課題となる項目（読書、あいさつ、早寝早起き）がみられました。

しかし、実現度の低い項目は「できていない」ではなく、どのようなことが背景にあり、どのような状況であるのかを把握することが最も大切であると考えます。子どもたちがすすんで、より望ましい行動がとれるように環境を整えていきたいと思います。

#### 重要度と実現度の結果から

「重要度が高く、実現度も高い項目」は満足度が高いといえます。「重要度が高く、実現度が低い項目」は満足度が低く、「大切とは思っているが、実現は十分でない」と考えられ、改善が見込めるところとなります。一方で、この「重要度と実現度の差」は、より必要と感じている強さの表れであり、期待の込められているところとなります。

実現度を高めていき、満足のある生活が送れるように取組を充実させ、子どもたちの姿の変容をめざします。

児童のアンケートは実現度のみの回答となっていますが、児童・保護者・教職員の3者で合わせてみた場合、「読書」「あいさつ」「外遊び」が課題としてとらえられます。子どもたちの様子をよりたくさんの大人の目で見守りながら、応援していくように声かけをしていきましょう。